

職域保健の現場から

43

富士通株式会社 保健師 村上 郁也

従業員とその家族、さらに経営、社会を守るための感染症対策

本連載では、職域保健の現場で活躍されている方にさまざまな取り組みをご紹介いただいています。今回は、従業員とその家族の健康を守り、企業から社会までを支えるための感染症対策について、富士通株式会社保健師の村上郁也さんに「寄稿いただきました。」(編集部)

自律的な健康管理・ヘル
スリテラシー向上のため
の支援

富士通株式会社は、ICT分野において、各種サービスを提供することにもプロダクトおよび電子デバイスの開発、製造、販売から保守運用までを総合的に提供する、トータル・ソリューション・ビジネスを行っている。

まず、従業員はグループ連結で約13万人となり、対策を中心に紹介いたします。

弊社健康推進本部では、全ての従業員が心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境をつくりだすことを目標とし、従業員の自律的な健康管理やヘルスリテラシーの向上を積極的な支援を行っています。

今年度は「健やか親子21(第2次)」(2015~24年度)の中間年にあたることから、6~8月の間、3回にわたり検討会が開催され、この10月に厚生労働省より「『健やか親子21(第2次)』の中間評価等に関する検討会報告書」が公表された。

「健やか親子21(第2次)」中間評価公表される

今年度は「健やか親子21(第2次)」(2015~24年度)の中間年にあたることから、6~8月の間、3回にわたり検討会が開催され、この10月に厚生労働省より「『健やか親子21(第2次)』の中間評価等に関する検討会報告書」が公表された。

評価状況は、改善した34(目標を達成した12、目標を達成していないが改善した22)、変わらない5、悪くなっている4、評価できない9であった。

総評の概要は以下のとおり。

基盤課題A

切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策
母子保健対策が児童虐待防止対策等の基盤になるものであることから、地道な活動を長年続けている市区町村・関係機関の働きを評価している。それとともに、ハイスコアアプローチ/地道な求

各課題の評価

目標である52指標の評

といった経営リスク、お客様や社会への感染の拡大は社会的な責任が問われることもあり得ます。そのため、弊社では感染症対策を重要な位置付けとしてさまざまな対策をとっています。その中で保健師は、主に従業員教育や相談窓口、関係各署との連携・調整の役割を担っています。

風疹の対応

昨今、風疹は猛威を振るい全国各地で拡大しています。国や県でも風疹排除を目指し、抗体検査を推奨しています。弊社

でも神奈川県と連携した取り組みとして風疹予防推進協力法人の登録を行っている、さまざまな媒体を用いて社員へ積極的な情報提供を行いました。

まず、トップメッセージで富士通グループ13万人へ風疹の恐さや予防方法について啓発を行いました。これにより、会社としての方針を明示することができ、従業員自らが考えて行動することができたと考えます。また、同時期に保健師が安全衛生委員会の資料を作成して衛生講話を行ったり、

育、食育、肥満、痩せなど、自身の体に関するさまざまな健康教育の充実のために、より積極的な取り組みが求められる。さらに、親をはじめとする大人たちに対して、子どもたちを取り巻く環境、抱えている課題について正しい知識を身に付けてもらうような取り組みが必要である。

基盤課題B

学童期・思春期から成人期に向けた保健対策
子どもを取り巻く環境が大きく変化している状況が踏まえ、保健・医療分野のみならず教育委員会や学校など、より幅広い関係機関が連携した取り組みが必要である。

また学童期・思春期は健康に関わるさまざまな情報に自ら触れ、行動を選択し始める時期である。この時期に健康に関する正しい知識を身に付けること、自身の心身の健康に関心を持つことが生涯の健康づくりの第一歩となる。そこで性教

基盤課題C

子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり
多くの指標が改善していることから、目標実現に向けて着実に前進している。

一方で、個々の家庭に

風疹はワクチンで予防できる病気です

ワクチン・抗体検査について

- 妊娠を希望する女性やそのパートナー、抗体価の低い妊婦のパートナーは早めに抗体検査を受けましょう。十分な抗体がない場合は、予防接種を検討してください。
- 厚生労働省は2019~2021年度末にかけて昭和37年4月2日~昭和54年4月1日生まれの男性を対象に風疹の抗体検査を前置したうえで、定期接種の体制を整備しています。

費用補助・ワクチン接種可能病院などの情報について

- 居住地の自治体などの情報をご確認ください。
- 福利厚生制度F life+も費用補助対象です。

風疹に感染したら

- 風疹と診断された場合は主治医の指示に従って、感染性を持つとされる期間(発疹が消えるまで) 出勤や外出は控えましょう。
- 職場で複数人感染者が見られた場合は、最寄りの健康推進部門へご連絡下さい。

自分自身、また周囲の健康維持につとめることで妊娠中の同僚やみんなが安心して働くことのできる職場にしましょう!

図 風疹の対応 (富士通「安全衛生委員会資料」より抜粋、複製・複写・転載禁止)

識を持ち、リスクを理解した上で予防行動がとれることは非常に重要です。そのため、海外赴任前に感染症を中心とした健康セミナーを行い、地域の特徴や感染経路を踏まえた感染症の病態や予防方法の教育、予防接種の推奨を行っています。海外赴任者の支援体制においても地域担当制としているため現地の状況を踏まえて予防接種のアドバイスを行うことが可能で、また、担当保健師の窓口が明確になることで赴任前から相談しやすい関係性を構築することができ、万が一、現地で感染症の疑いがある場合でもきめ細かな対応が可能なためです。このように海外と日本という離れた環境であっても赴任前から継続的な関わりを大切にすることで、保健師が気軽に相談できる相手となるように心掛けています。

最後に、冒頭でも述べた通り、従業員の心身の健康は会社にとって何より大切です。感染症は病原体の強さや流行・拡大スピードの速さから不安や恐怖感を抱きやすい特徴があると思われがちです。従って、会社制度と医療支援の両面で丁寧ケアしていくことが大切だと感じています。

今後も保健師の関わりを通じて、従業員自らの意思決定し行動に移せるよう、リテラシー向上に寄与していきたいと思っています。

広告

()る。また、支援の量的な部分のみでなく、質的な部分についても評価の対象とする必要がある。

子どもの発育や発達に 関して、親や身近な養育 者が正しい知識を持つ のに加え、国民全体の理 解を深めることが重要で ある。

重点課題②

妊娠期からの児童虐待 防止対策

児童虐待の死亡数につ いては、データの把握状 況から、全数ではないこ とに留意すべきとした。 体罰や暴言、ネグレク ト等によらない子育てを 進めるために、親や、親 を支援する立場の者に対 して子育ての方法を伝え

ることが重要である。ま た、子どもの発育・発達 に伴う育児の大変さに寄 り添った支援が必要であ る。

そして、必要な体制整 備とともに、関係機関の 緊密な連携のもと、より 実行力のある児童虐待防 止対策を進めていく必要 がある。

学童期・思春期から 成人期に向けた保健対策 における課題

検討会で、基盤課題B において特に課題とされ た分野として、①10代の メンタルヘルスケア②10 代の性に関する課題③食 生活等生活習慣に関する 課題―の三つが挙げられ た。以下が概要である。

①10代のメンタルヘルス ケア 自殺死亡率はベースラ イン値と比較して10〜14 歳が増加、15〜19歳が減 少した。成人期を含む全 体の自殺死亡率が改善さ れた一方で、子どもの自 殺については深刻な状態 にある。子どもの自殺対 策は引き続き重要な課題 である。

また、子どものこころ の問題も喫緊の課題。学 童期からの個人への対策 のみでなく、親を含む家 族への支援が必要である とともに、子どもの発達 特性を踏まえた上で、地 域資源を活用しながら、 関係機関の多職種による 連携を進めていく必要が ある。

②10代の性に関する課題 性器クラミジア、淋菌 感染症、尖圭コンジロー マ、性器ヘルペスが改善 されるも、梅毒の報告数 が急増。今後、対応が必 要である（現行の指標に 梅毒が追加された）。 10代の中絶件数が減少 したが15歳未満の出生数 は減少していない。若年 世代の妊娠に関する基礎 的な知識が不足している などして、妊娠の発見が 遅れるケースもある。 性行為、妊娠、避妊な どに関するさまざまな選 択肢がある一方、正しい 知識がないと正しい選択 ができない。現在、主に 学校保健において取り組 まれている性教育に、産 婦人科医、助産師等の専

門家が深く関与すること で、より充実した内容に なることが期待される。 10代の妊娠について は、社会・学校での孤 立、困難を抱えた家庭環 境、家庭に居場所がない ことなどの要因が大きく 関与している。またSN Sの普及など、性を取り 巻く環境の変化を踏ま え、性に関する課題には 引き続き適切な対応が求 められる。

子どもの痩せ、肥満朝 食欠食の問題は、連動す るものとして考えなくて はならない。朝食欠食は 一日の生活リズムにも関 わる。さらに、貧困等、 社会経済的要因も含めた 総合的な視点の中で子ど もの食生活に対応してい く必要がある。

また、朝食欠食する子 どもの家庭では、親も欠 食していることが考えら れる。食習慣が次世代に 影響していることも懸念 される。 起立性調節障害などを 抱え、朝の起床が困難な 子どもなどについては、 周囲が理解し、適切に対 応する必要がある。 ※詳しい情報は厚生労働 省HPを参照

子どもの健康な女性を対象 に、抗クラミジア抗体の 立ち上がり方（陽転）を 見ると同時に安全性を確 認し、次の開発段階へ進 む予定です。 淋菌感染症 のワクチン候補は現在9 種で、それぞれ動物実験 が進行中です。性器ヘル ペスでもワクチン候補の 探索が行われており、ウ イルスの宿主細胞侵入を 抑制するものと、ウイル スが宿主免疫機能のスィ ッチを切るのを阻害する ものという2種類の抗体 の効果が期待されていま す。

性感染症の 予防と ワクチンの開発

◆新薬と新投与方法

米国立アレルギー感 染症研究所(NIAID) は、性感染症(STI)に 対する研究開発の方向を 少し修正することを発表 しました。背景には現対 策の問題点があります。 米国内だけで毎年約2 30万件的STIが発生 しており、薬剤耐性菌に よる淋菌感染症は、現在 2種類の抗生物質の組み 合わせだけが効果があ り、それも時間の問題と 考えられています。梅毒 はゲイの間で急増してお り、クラミジア感染症に 至っては約1億2700 万件もの新患が毎年発生 しており（世界保健機関 世界推計）増加傾向が止 まらない状況です。しか も、無症状で検査から漏 れた感染者が絶えないこ とが懸念されています。

とから伝播環境は変わっ ています。 これまでの薬剤開発 は、感染者の治療に焦点 が当てられていました。 これは感染者が受診し患 者として診断される過程 を通して初めて効果があ るもので、これだけでは STIを減らすことは難 しいと判断されました。 そこで、これからの研 究開発は大きく分けて三 つ、すなわち簡易診断薬 （ポイント・オブ・ケア 診断、POC）、転用薬 投与（別目的での薬剤投 与、そしてワクチンが 重要となります。POC はベッドサイドや院外で も簡便に感染の有無が確 認できる検査方法、転用 薬は治療ではなく、予防 する目的で感染リスクの 高い人に抗生物質などを 投与する方法で、エイズ ウイルス(HIV)では PreP（感染前抗HIV 薬投与）という予防法 が確立しています。

この他に開発中の新薬 としては、皮下で固形化 するポリマーに抗HIV 薬を封入して注射する と、1年間にわたり数種 の薬剤を毎日服用するの と同じ効果が得られると いうものがあります。こ れはHIV感染者が直面 している問題の一つに服 薬順守の低さがあるから です。 参考 NIAID officials call innovative research 9 Sep 2019.

海外情報クリップ

◆米国オハイオ州の 調査から

幼少期にトラウマを受 けると、その後の成人期 に心的外傷後ストレス障 害(PTSD)になるリ スクが高くなり、特に女 性はその傾向が強く現れ るといわれています。ま た複数の慢性疾患の発症

にも関連する可能性が示 唆されています。 オハイオ州立大学社会 学部のカリスティ・ウ イリアムズ教授は、慢性 疾患のリスクは成人期後 半に高くなるが、患者に とってはトラウマによる 何らかの有害事象が早い 場合は、いつ頃から発生 するのかが重要だと考え

幼少期の トラウマ

オハイオ州では「青少 年の縦断的疫学調査」 (NLSY)という労働 環境や社会生活の定期調 査について教授は「卒 業して就職し、結婚して

ヒトパピローマ ウイルスの感染経路

◆新たな感染経路の問題

子宮頸がんなどを引き 起こす数種類のハイリス ク型ヒトパピローマウイ ルス(HPV)は、性交 渉による直接接触で感染 することがよく知られて います。しかし、今回発 表された研究報告によれ ば、直接接触ではない経 路でも感染する可能性が

示唆されました。 ペンシルバニア州立大 学病理学部の研究者ら は、エイズウイルス(HIV)に感染している小 児の血液を検査している 時、偶然、HPVも陽性 であることを見つけ、年 齢から性行為感染は考え にくく、その小児は輸血 を受けていたことを知り ました。HIV感染者は 免疫力が低下しています が、輸血を受ける患者は 免疫低下を来しているこ とが多く、輸血によるハ イリスク型HPVの間接 的な感染の可能性が指摘 されました。

次に実験に使うウサギ にかかりの量のHPV (動物型)を注射し観察 したところ、全頭で皮膚

に腫瘍が発生し、投与量 を5分の1にした場合 は、約半数のウサギに腫 瘍が見られました。さら に実験を続けて、今度は マウスにHPVを注射し たところ、マウスの舌や 子宮、つまりヒトの子宮 頸部と同じような粘膜組 織にも腫瘍が発生してい ることを確認しました。 これら一連の実験結果

から、HPVは明らかに 血流によって特定の部位 に感染を引き起こすこと が示され、ヒトでも輸血 に実験を続けて、今度は 感染の可能性が否定でき ないと研究者らはコメン トしました。HPVは広 く拡散しており、また感 染しても無症状の場合が 多いことから、献血の際 にHPVをスクリーニン グの対象に入れるべきか

どうか課題が残ります。 現在のスクリーニング の対象は、梅毒、肝炎ウ イルス、HIV、ヒトT 細胞白血病ウイルスなど となっています。 参考 Cladel NM,et al. Emerg Microbes Infect 2019 8(1). 【翻訳＝Office Ob-Gyn】

全国ピアの若者を代表して

実行委員長より



2年前に群馬ピアを代表して鳥取での全国大会に参加し、ピア活動の幅広さを知ることができました。また続けてジャパン・ユース・フォーラム※に参加して、ピア以外での場所でも多くの学生が立ち上がり、活動している様子を目の当たりにしました。これらの経験から、学生が本来持っている力の大きさや、自分たちにできることはもっとたくさんあるのだということを実感しました。

こうした体験の中で、私たちピアっ子は、有意義な活動の場を持っているにもかかわらず、毎年同様の課題や壁にぶつかり、足踏みを続けている状況もあるということに気付きました。そこで、全国のピアっ子たちが交流できるこの機会に、自分たちの知りたいこと・まだ知らなかったことを、1つでも多く「知れた」に変えることで、その壁を壊してほしいと考えました。そして、活動の発展につなげることはもちろん、ピアっ子自身が活躍できる機会を増やせるきっかけをつくりたいという願いを込め、群馬での全国大会では「知りたいことをシルクロード～仲間をつむぎ 風にのせて～」というテーマを掲げました。

当日は100名以上のピアっ子が集まり、すてきな交流の場になったと思います。その中で、さまざまな気付きや学びを得てもらうこともでき、最後には仲間と共につむがれた色鮮やかな風船が、風に乗せられ会場を舞う様子が見られました。この風が吹き続き、ピアの可能性が埋まらないことを願います。

第8回思春期ピアカウンセリング全国大会in群馬
実行委員長

佐藤 榛名
(ピアネーム:りんごちゃん)

※2018年1月に開催された第2回ジャパン・ユース・フォーラム(主催:U-COM)

2019年7月3日～5日 マレーシアにて

国際家族計画連盟 (IPPF) ユースフォーラム参加報告

勇気を持って もっともっと発信する!

ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会・U-COM(ピアっ子)

長船 瑞季
(ピアネーム：みずき)



参加者みんなで集合写真

今日は私が、2019年7月3日(水)5日(金)にマレーシア・クアラルンプールで開催された、国際家族計画連盟(IPPP)東・東南アジア・大洋州地域ユースフォー

ささせていただきます。

今回のIPPFユースフォーラムには、東・東南アジア・大洋州地域から21人の若者が集まり、主に包括的な性教育(Comprehensive Sexuality Education=CSE)について、現在の進捗状況や今後の発展のために必要なことについて話し合いました。

ここで突然ですが、みなさんは現在の日本の若者の性事情についてどの

みなさん こんにちは！	COM、思春期ピアカウンセラー（ピアカっ子）のみずき（長船瑞季）です。	ーラムに参加し、海外の同世代の若者たちとの交流を通して、感じたこと、考えたことについて報告
-------------	-------------------------------------	---

7月3～5日、国際家族計画連盟（IPPF）東・東南アジア・大洋州地域ユースフォーラムが、マレーシアのクアラルンプールで開催され、各国で家族計画協会の活動に携わる若者が、セクシユアル・リプロダクティブヘルス／ライツの諸問題について話し合いました。

今回、IPPF加盟団体である本会から、若者代表として参加した長船瑞季さんに、海外での交流を通して感じたこと、考えたことを寄稿いただきました。

（編集部）

あるいは悪いということを感じたのではなく、日本¹の若者は胸を張って自分たちの活動に対して誇りを持つとともに、自分たちが感じている若者自身が置かれている状況や抱えている課題について、もっともっと発信していく（行動していく）必要があるのではないかと（いうことです）。

IPPFニュースフォーラムでの3日間を通して、マレーシアやカンボ

伝えたいのは、今回IPFユースフォーラムに参加して、日本の若者の事情がただ単に良い、

ーションやピアルームなど、若者が若者のために行っているたくさん活

そして主体的に描けるように、みんなでがんばりましようっ！

現在の日本の若者の性事情といえは、決して十分とは言えない性教育のことや、避妊薬へのアクセスの難しさのことなど、さまざまなことが浮かんできるとは言えない。一方で、自己決定に関するドラマを作成するなど、それぞれの国がそれぞれの国に合ったCSEについて若者自身が考え、活動している姿がありました。

生活、ヒアリング生活のなかで同世代の仲間のために自分自身ができることは何なのかを考え、小さなことでも前に進んでいけるようにがんばります！ 自分たちが生きる

A large group of students and teachers are gathered in a gymnasium for a group activity. Many students are wearing blue and white uniforms. The room is decorated with colorful balloons (red, yellow, green, blue) and a large banner on the wall. The students are arranged in a large circle, and some are holding up their hands. The gymnasium has a green floor with white lines and a large white wall in the background.

ピアっ子たちがそれぞれうちわを手に風船を舞わせたシーン。一つ一つの風船にはメッセージが書かれていて、受け取ったピアっ子同士、互いの思いや考えを分かち合った

9月15日に、群馬県前橋市の赤城青少年交流の家で、第8回思春期ピアカウンセリング全国大会が開催された（主催：日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会、本大会実行委員会、後援：群馬県、前橋観光コンベンション協会、本会）。	い、交流と研修を通じて、思春期ピアカウンセリング活動の一層の向上に資することを目的に開催される。
この大会は2年に1度、思春期ピアカウンセラー（ピアっ子）および養成者・支援者らが集	今回、全国8県（秋田・福島・群馬・栃木・兵庫・愛媛・徳島・沖縄）から約140人が参加した。
あった県	の歴史、そして

群馬の名物である「からっ風」をモチーフに考え出されたもので、参加者への情報提供に加えて、



全国からピアっ子約100人、支援者ら約40人が集まった

全国の各地のピアっ子たちそれぞれこれまでの活動・考えや思い・個性などをこの大会を通じて語り合い、分かち合って、大きな風へのせ全国に向けて発信したいといめられていた。

一つめの講義では、群馬県立豊学校で行われたピアエデュケーションの事例が報告された。同豊学校養護教諭・大谷美和子氏が登壇し、耳が不自由な思春期世代への性の健康教育に、ピアエデュケーションのもつ効果と意義を語った。大谷氏は、同年代のピアっ子たちが性に関する正しい情報を伝え、接するときも否定しないことで、受けたい学生たちが自尊心を揺さぶられるところに魅力があると語る。

さらに、同豊学校で実

二つめの講義では、群馬中央病院初期研修医・中村葵氏が、諸外国の例も示しながら、日本における若者の性に関する課題や、性教育が先進的なスウェーデンの状況などを紹介した。

大会期間中は、グループワークや対話の時間も豊富に設けられ、2日間のプログラムの中で参加者らは学び合い、交流を深めた。

ように考えますか？ ま
 た、性と生殖に関する健
 康と権利（Sexual
 Reproductive Health
 and Rights＝SRHR）
 についてどのように考え
 ますか？

シア、フィ リピン、イ ンドネシア などたくさ んの国にお ける活動に ついての発 表を聞くこ とができま した。バッ クグラウン ドまで深く 話を聞くこ とができたの です	インドネシアのHIV啓発グッズ インドネシアではH 啓発活動として、 連携してコンド ームを配布して 入っているグ ッズ
動が全国各地で実施され ていますが、どこかで受 け身になっていることが あるのではないでしょう か。私自身ですが、も う一度思春期ピアカウン リングという素晴らしい 活動が行える環境にある からこそ、自分たちが置 かれている状況、あるいは 普段の活動のなかで感 じていることについて、 今行っている活動のなか で何ができるのか、また もっと必要なことはな いのか考え、勇気を出して 発信していく（行動して いく）ことが必要だと思 います。	インドネシアではH 啓発活動として、 連携してコンド ームを配布して 入っているグ ッズ



保育園から学校の関係者、保護者と学ぶ発達障害勉強会の様子

KEY WORD 支援は特性の理解から

「変化する若者・家庭像に沿う支援を目指して」

大田市立病院産婦人科(島根県大田市)副院長 榎原 研

妊娠や性感染症に関する指導を行う際に、意思疎通どころか面談の実施さえ困難なケースが増加した印象は、多くの支援者が体感しているのではなからうか。私もその背た者と思う。

景に発達・知的・愛着障害があるケースを経験した。各方面から指導・援助いただいた経験も至る。環境整備が必要である。

知的障害は、言葉の理解や記憶、自他の認知の困難さがあり、その程度は産婦人科医の想像を超えることが多い。

愛着障害には外部との認知(メタ認知)自身の困難に至る。

次障害に至ると、自他障害を含む不適応につながりやすくなる問題行動に及ぶ。DSM-5の診断基準を満たす子は多くなく、教育現場などで愛着障害として扱われるケースではPTSDや虐待への配慮が大切になる。自動思考から生じる「メタ認知」自身の困難に至る。

接触を拒絶する回避性

理解力・認知能力を踏まえた 思春期教育

発達障害・知的障害・愛着障害

発達障害の子は、幼少期には発達の凸凹が大きい状態であり、治療や療育などの対応が実施されない。周囲からの叱責や誤を来す。この段階で発達

確認すべきは読む書く聞く能力とワーキングメモリー(WMI)である。

要支援の児童生徒にあっては学校や施設と連携し、情報伝達の工夫が必要である。実際に、読む聞く覚える訓練の後に初めて性的行動を理解した高校中退女性を、筆者は相当数経験した。見逃し例を含め、WMIや理解力が低い子どもに「自分を大切に」「中絶で失われる命の重み」など突然話してもほぼ理解できず、支援者の自己満足にすぎないばかりか新たな大人不信を生じかねない。メタ認知形成については専門書を参考にして

多職種による家庭支援を

いったん始まった家庭の崩壊を防ぐのは医療か福祉かと議論している。大抵は後手に回る。医療・福祉、時に教育機関を含めた評価と支援が必要である。

私の経験では貧困(多産)、種々の原因による機能崩壊に至った家庭には、発達障害を含めた要支援者が確認されることが多い。

支援組織は形成されつつあるが、要支援者とならないという根本的な問題がある。周産期に

現代においては性教育や若者支援は家庭支援なしには結果を出せないと考えている。

支援組織は形成されつつあるが、要支援者とならないという根本的な問題がある。周産期に



「今月の人」

榎原 研

1986年、島根医大(現島根大学医学部)卒。聖隷浜松病院NICUで研修。大学で学位取得後、近隣の病院勤務を経て、2001年より現職。大田医教連携勉強会・MMの会主宰。19年4月より、専門医を招き小児科発達障害外来を開設し、主に家族のケアに当たる。

第21話
本会機関紙から消えた
ピルの文庫

本会機関紙の前身「家族計画」上に頻りに登場していたピルの話題がとんとなくなりました。

筆者は、バックナンバーの一頁一頁に目を通したが、第143号(1966年2月20日号)に、国立公衆衛生院衛生人口学部・村松稔氏(当時)が、「新しい二つの避妊技術 子宮内挿入器具と経口避妊薬」について書いて



北村 邦夫 著

いほどのことはないが、長期連用には重要な器官の機能障害が起きないか危惧される」としている。第164号(67年11月20日発行)には、東京女子医大(産婦人科・大内広子助教授(当時)が「第12回日本不妊学会から」(福島市)を寄稿している。学会探訪記を編集部から求められたよう、子宮内避妊具(IUD)と経口避妊薬(ピル)が話題として取り上げられている。学会では、ピルが起る、確実な避妊効果を表すというものの、副作用として黄疸の発生や一過性の肝障害を起すこと、また血液凝固異常に伴う静脈血栓症や動脈硬化を来すともいわれる。その他、ピル服用時は胃腸障害を認めることが多く、服用中止の最大原因となっている。しかし、今回の学会では、これらの副作用は大して認められず、服用中止後に正常な排卵が回復し、妊娠例の報告も多かった。今後、長期の服用でいかなる変化が表れるか、今少し慎重に研究する必要があると結んでいる。

「ピルは話題になった頻度からいって子宮内挿入器具に比べてよりセンセーショナルで、費用の検討」が発表された。要約すれば、ゲスターゲン使用により子宮頸管粘液の糖質と蛋白の増加が起る精子の通過性が著しく低下したこと。すなわち、少量のゲスターゲン投与時の避妊機序の一つとして、子宮頸管因子の存在があるとのこと。その他、黄体ホルモン

戸大学の「ゲスターゲン少量投与時子宮頸管粘液の生化学的性状についての検討」が発表された。要約すれば、ゲスターゲン使用により子宮頸管粘液の糖質と蛋白の増加が起る精子の通過性が著しく低下したこと。すなわち、少量のゲスターゲン投与時の避妊機序の一つとして、子宮頸管因子の存在があるとのこと。その他、黄体ホルモン

母子保健指導員研修会のご案内

1月 第503回

いざという時の災害対策

【日時】 2020年1月14日(火)
13時30分～15時30分
【内容】 災害に備えママや支援者ができる具体的な対策など
【講師】 上吉原 良実先生(厚生労働省／小児救急看護認定看護師)

3月 第504回

産後のこころの問題と対応のコツ

【日時】 2020年3月10日(火)
10時～12時
(13時15分～15時は総会)
【内容】 健診時に見るべきポイント／声の掛け方や留意点など
【講師】 松井 康絵先生(東京都立大塚病院 神経科／日本橋産業保健研究所)

【会 場】 TKP市ヶ谷3階(東京都新宿区)
【対 象】 保健師、助産師、看護師、保育士、栄養士等有資格者
【参加費】 会 員…無料
非会員…当日4,000円(税込)
(会員以外で参加希望の方は、必ず、本会HPにある専用申込書で事前にお申し込みください)
【問い合わせ・申し込み】
TEL 03(3269)4785
FAX 03(3267)2658

広告